

○事業所名	上田市つむぎの家		
○保護者評価実施期間	令和7年2月6日		令和7年2月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和7年2月6日		令和7年2月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	6年度5月に事業所を移転し、施設の快適性が向上したこと。(特に建物の規模の拡大、防災施設の充実など)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな施設での運営の安定 ・利用者に新たな施設に慣れてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策としてのゾーニング ・災害対策用品の計画的購入(今後、少しずつ充実)
2	重症心身障害児に対し、マンツーマンで対応できていること。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族の気持ちに寄り添った対応を心掛けている。 	
3	小規模な事業所なので職員間の意思疎通がとりやすいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の一斉周知、災害時連絡手段の確保を図るために携帯電話への無料アプリの導入 	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者が過去に比較すると減少している。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の確保 ・施設の移転により、養護学校からの距離が遠くなったこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所との連携による、利用希望者の拡大(ただし、重症心身障害児を対象とする施設のため、利用者の障がい特性を考慮に入れる必要がある。)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・移転によって隣接していた障がい者支援施設との交流がむずかしくなったこと ・地域との交流等の構築がまだできていないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・5km以上離れたという物理的な問題なので、解決は容易ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、検討
3			